

2025年8月15日(金)9:00からCRTスタジオで収録

パレスティナ若手リーダー20名との対話、新たな平和プロセスを若者の手で！に参加して

開倫塾

塾長 林明夫

本年8月は、終戦の80周年に当たりますので、今日の「開倫塾の時間」では、「平和構築」に関連するお話をさせていただきます。

1. (1)公益社団法人経済同友会アフリカ・中東委員会、「パレスティナ若手リーダー20名の皆様との対話、新たな平和プロセスを若者の手で！」が、8月7日(木)、90分間にわたって日本工業倶楽部会議室で行われました。アフリカ・中東委員会の委員の一員として参加させていただきました。
 - (2)冒頭、経済同友会の渋沢健委員長が、「80年前の8月6日に広島に、8月9日に長崎に原爆が投下され、30万人、7万人が亡くなり、また、3月10日の東京大空襲でも多くの人々が亡くなりました。このような時期に、皆様が日本を訪れることは、意味深い」旨の発言があり、引き続き、パレスティナの若者代表からは、「80年前の広島、長崎、東京は、今のガザである」旨の発言がありました。
 - (3)さらに、若者代表からは、「ガザへの即時攻撃停止、復興プロセスでの日本の協力、とりわけ、インフラ整備、教育・医療分野での協力」が要請されました。
2. (1)＜塾長発言要旨＞

パレスティナの若手リーダーに知っていただきたいのは、日本の外交政策です。我が国の外交の基本政策の「第一」は、「国際協調主義(Internationalism)」つまり、「特定の国家だけではなく、世界の国々と、幅広く平和構築の取り組みを行うこと」。
 - (2)「第二」は、「人間の安全保障(Human Security)」つまり、「国家の安全」だけでなく「一人一人の人間に着目して、安全を保障すること」です。
 - (3)①「人間の安全保障」の内容の第一は、「保護(Protect)」つまり、緊急時の人命救助、避難などを「尊厳」をもって行うこと。
 - ②第二は、「能力強化(Empowerment)」です。

3. (1) 「能力強化」とは、「紛争当事者や、紛争に巻きこまれた「人間一人一人の能力強化」も大切ですが、「国家や地域、企業や団体の能力強化」も極めて大切です。
- (2) つまり、「復興過程」において、飲み水、住宅、エネルギー、上下水道、食糧、道路などを確保すると同時に、国家や地域の復興、仕事の確保、新たな仕事能力を身に着ける研修、住宅の建設、学校や病院、農業地帯、工業地帯、商業地帯、交通網の建設など、紛争や戦争で破壊される前の「社会インフラ」の整備が、「復興」には欠かせません。
- (3) さらに、再び同じような過ちを繰り返さない、「対話」「平和構築」の仕組みづくりが欠かせません。
4. (1) 日本とイスラエル、日本とパレスティナは、お互いの立場を尊重し、尊敬し合いながら、パレスティナにおける「平和構築」を、日本外交の基本方針である「国際協調主義」と「人間の安全保障」の観点から行うべきと考えます。
- (2) 日本の最も得意なのは、「ゼロからの平和構築」「ゼロからのインフラ整備」「ゼロからの教育環境整備」「ゼロからの企業活動の立ち上げ」かもしれません。
- (3) 是非、パレスティナと日本の若者、ビジネスセクターが協力し合い、新たな平和のプロセスの構築を目指してまいりましょう。生産性向上運動、改善活動、5S活動、日本語教育など必要があれば、どんどんご協力させていただきます。

5. 最後に一言

- (1) 来週、8月20日から8月22日まで、「パシフィコ横浜」という国際会議場で3年に1回開催される「第9回アフリカ開発会議(TICAD IX, テッカッド・ナイン)」が、日本政府の主催で開催されます。
- (2) アフリカ54か国から政府や民間の代表が来日、アフリカの未来、日本への期待、アフリカへの期待について、議論されます。
- (3) せっかくの大イベントです。是非、TICAD で検索し、どのような議論がなされているかをご覧ください。新聞やTVでの報道にもご注目ください。

2025年8月14日(木)8時42分